

統一地方選へ よろず相談所

県選管が開設
県選管は九日、四月の統一地方選に向けて県庁の県選管室内に「選挙よろず相談所」を開設した。電話や面談で有権者の相談に応じる。併せて県選管ホームペ



ージに臨時ページも開設。選挙日程や選挙運動のルール、過去のデータなどを確認できる。

県選管の北川稔委員長が同日、看板を掲げた。写真。北川委員長は「前回衆院選は投票率が50%と極めて低かった。統一地方選はより住民にとって結び付きが強い選挙。ぜひ投票所に足を運んでもらいたい」と話した。職員四人が四月二十六日まで、平日午前八時半から午後五時十五分まで相談に応じる。

二〇一一年の前回統一地方選では、一日平均で三十三件の相談があった。相談所は「0776-0357」（塚田真裕）

席。県選管の熊澤喜八郎委員長職務代理者が「県知事、県議選は身近な選挙。管理執行に万全を期してほしい」とあいさつした。



いさつした。

県選管の担当者が事務日程や投票用紙の配布計画、期日前投票や不在者投票事務の取り扱い、投票票の速報体制などについて説明。企業に出席

知事選、県議選 若者へ啓発推進

県・市町選管、会議で確認

2月21日 福井新聞

4月12日投票の知事選、県議選に向け県選管は20日、県内市町選管の委員長、書記長との合同会議を県庁で開いた。写真。迅速かつ慎重、確実に選挙事務を進めるよう要請。昨年12月の衆院選の県内投票率が全国平均を下回ったことなどを踏まえ、若者をターゲットにした啓発活動を推進することを確認した。

市町の選管から46人が出

2月26日 県民福井

「明るい選挙」 推進本部設置

統一地方選を前に、県選管と県民の選挙推進協議会は十九日、「統一地方選挙明るい選挙推進県本部」



看板を掲げる北川稔委員長（左）と中村保之会長（右）＝県庁で

を県庁の県選管内に設置した。同本部は一九七五（昭和五十）年から統一地方選が行われるごとに設置している。

この日は県選管の北川稔委員長と同協議会の中村保

之会長が本部の看板を県選管前に設置した。同本部では、若者の投票率向上のため、今回は投票を啓発するフレズを書いた割り箸袋を製作し、大学の食堂やコンビニエンスストアなどでの配布を計画。県内の企業に出向いての啓発活動なども検討している。

北川委員長は「昨年末の衆院選は50%という低い投票率だった」と振り返り、「今回の選挙は、地元に着した地元の代表を選ぶ選挙。投票によって皆さんの声を政治に反映させてほしい」と話していた。

（笠松俊秀）

事前運動防止で 取締本部を設置

県警

15 統一地方選

県警は25日、「第18回統一地方選挙事前運動取締本部」を捜査2課と各警察署に設置した。井上一志本部長を

トップに約1000人態勢で取り締まりにあたる。捜査2課の斎藤正彦次席は「悪質な違反は投票前でも検挙する方針。厳しく目を光らせ取り締まりたい」としている。

反たという。前回の統一選では58件の警告が出され、県議1人が公職選挙法違反（現金買収、供応買収）容疑で逮捕され、同法違反で有罪判決を受けている。

捜査2課によると24日現在の警告は15件で、全てがポスター掲示などの文書掲示違反



事前運動取締本部の看板を設置する捜査員
|| 福井市大手3の県警本部で

3月4日 県民福井

学生がカウントダウン

熱票 2015

前半戦 投票まで39日
統一選 候補者

大学生や社会人へ向ける県民の選挙推進青年活動隊「CEPT」は三日、フェイスブックで、統一地方選の前半戦となる知事選と県議選の投票票日(四

CEPTフェイスブック活用

月十三日)に向けた「カウントダウン・リレー」を始めた。隊として初の試み。区の投票率は戦後最低の50.00%だったが、県の抽出(CEPTフェイスブック)で、調査した代は、さらに7割で、投票で、県内の大学生四人余りが日替わりで「あつこ」などと書いたポッドを持って登場する。「自分の一票を大事にする。」「若者よ、今ほしい。若者みんなの票を(そ動く時だ)とメッセージを添えたバナーも。」「投票票日は(ゼロ)のポッドを掲げる。(西尾述志)

「若者一票を大事に」



県内の大学生が知事選、県議選の投票票日までの「カウントダウン・リレー」を行うフェイスブック=3日、県庁で

3月5日 毎日新聞

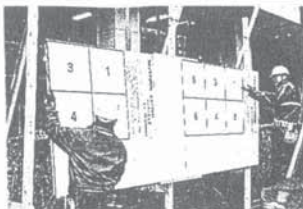
15 統一地方選

福井市選挙管理委員

ポスター掲示板設置作業始まる

福井市選挙

会は4日から、来月実施される統一地方選に向けて、立候補者のポスターを貼る掲示板の設置作業を始めた。写真。20日までに市内680カ所を準備する。福井市役所前ではこ



【村山豪】

の日午前10時から、市の委託を受けた作業員2人が雨の中掲示板(縦約1.4メートル、横約7.7メートル)を設置した。統一地方選の前半戦となる知事選挙と県議会議員選挙(いずれも4月12日投票)の掲示板的後ろに、後半戦となる福井市議会議員選挙(同26日投票)の掲示板が重なってお

り、前半戦終了後に知事・県議選の板をはがす作業が行われる。

投票用紙の梱包着々 県選管



投票用紙に点字シールを貼る職員＝県庁で

熱票 2015

統一選 ふくい

四月十日投票開票の知事選と県議選に向けて四日、県選管は投票用紙を各市町に発送するための梱包作業を県庁で始めた。六日まで作業を終え、九日に発送する。

作業には県選管職員十人が当たっている。投票用紙は知事選用が白、県議選用

職員発送へ作業

が薄い黄色。それぞれの点字投票用紙と船員不在者投票用紙を合わせて計百三十五万九千九百三十枚を準備した。

職員らは、各市町に必要な枚数を手作業で数えたり、点字投票用紙に点字シールを貼ったりする作業に当たった。投票用紙のほか、不在者投票に使った投票用封筒や郵便投票などの各種証明書も計約十万五千枚あり、各市町に必要な枚数を任分けし、投票用紙とまとめて梱包して発送する。(正津聡)

県選管の担当者(左奥)から説明を受ける出席者たち＝県庁で



出馬表明の2陣営出席 知事選の立候補説明会

統一地方選の皮切りとなる知事選(二十六日告示、四月十日投票開票)の立候補予定者説明会が五日、県庁で開かれた。出馬を表明している二陣営の関係者が出席。県選管などから立

熱票 2015

前半戦 投票まで37日

統一選 ふくい

候補手続きの説明を受けた。出席したのは共産新人の金元幸枝氏、現職で無所属の西川一誠氏(自民党県連、民主党県連、公明党県本部推薦)＝政公認、無所属の順＝の各陣営。県選管の池田禎孝書記長(県市町振興課長)があいさつし、選挙運動に当たって「明るくきれいな選挙の実現と、円滑な選挙事務の運営に協力してほしい」と訴えた。

この後、県選管の担当者らが、立候補の手続きに関する注意点などの説明。出席者は書類を眺めながら、真剣な表情で耳を傾けていた。



投票用紙などが入ったトラックに積み込む県選管職員ら＝9日、県庁

統一地方選 15 ふくい

投票用紙など17市町に発送。知事、県議選で県選管4月12日投票開票の知事選、県議選に向け、県選管は9日、投票用紙など関係書類を県内

17市町に発送した。発送したのは投票用紙13万9930枚、不在者投票用の封筒4万6160枚など計66種類約14.6万枚。午前8時半すぎから、県選管の職員20人が県庁正面玄関前で、段ボール102箱を3台のトラックに積み込んだ。発送式で県選管の池田禎孝書記長が「大切な投票用紙な

統一地方選 15

県議選立候補者説明会に46陣営。任期満了に伴う県議

選(4月3日告示、12日投票開票)の立候補予定者説明会が6日、10、11日の3日間にわたって開かれ、全12選挙区(定数計37)に計46陣営の関係者が出席した。福井市や敦賀市、あわら市など7選挙区で選挙戦となる見通しになった。8陣営が出席した定数5の越前市・今立郡・南条郡(池田町・南越前町)選挙区では激戦が予想され

る。各選挙区と定数、説明会に出席した陣営数は以下のとおり。

- ▽大野市、定数2
- ▽勝山市、定数1
- ▽鯖江市、定数3
- ▽あわら市、定数1
- ▽越前市・今立郡・南条郡(池田町・南越前町)、定数5
- ▽丹生郡(越前町)、定数1
- ▽大飯郡(高浜町・おおい町)、定数1

【山崎守剛】

選挙違反取締本部
県警と11署に設置



選挙違反取締本部の看板を設置する捜査員＝10日、県警本部

統一地方選
15ふくい

10日、統一地方選を控え、県警は

「第18回統一地方選挙違反取締本部」を設置した。同課の水島徹次席は「違法は看過しない」という姿勢で取り締まりに当たる」と述べた。

統一選挙前日の知事・県議選の投票日を約1カ月後に控え、2月末にすでに設置していた「事前運動取締本部」から切り替えた。井上一志・県警本部長を取締本部長に、各署長を取締本部の長とする約1200人態勢を取る。悪質な違反については投票前日前でも摘発する方針。

統一地方選の違反
取り締まりを徹底

県警署長会議

統一地方選をテーマとした県警の署長会議が12日、県警本部であった。11署長や本部所属長ら約70人が出席し、悪質な違反を徹底して取り締まる方針を確認した。写真。井上一志本部長は「軽微な違反であっても警告などの措置を講じ、度重なる違反については厳正に対処してはし

を類推させる文書の発行などの事前運動で、知事選3件、県議選9件など計24件の警告を出している。(堀田理輝)



(宮崎翔央)

立候補受理 準備OK
県選管がリハーサル



「七つ道具」を手渡す手順を確認する職員＝25日、県庁正庁

県選管は知事選告示前日の25日、立候補届け出会場となる県庁正庁で受け付けのリハーサルを行った。

県選管事務局の池田福孝書記長ら職員約20人が参加し、受け付け開始の午前8時半までに2人の立候補予定者が来たとの想定で実施した。

くじ引きを2回行って受け付け順を決め、候補者ごとに届け出書や宣誓といった書類に不備がないかを確認。順番に届け出を受理すると、事務所標札や腕章など七つ道具を手渡した。一連の作業は、開始から30分ほどで終了した。会場には本番さながらの緊張感が漂い、職員は当日の手続きが滞ることのないよう念入りに作業手順を確認していた。(坂下享)



統一地方選を前に福井市選管
福井市選管

管は25日、投票呼び掛けるのほり旗や横断幕を市役所前に設置した。写真。のほり旗には、4月12日の知事選と県議選、同26日の市議選の投票日が目立つよう大きく記されている。庁舎正面周辺に植え込みに10本、市内8カ所の期日前投票所には4本ずつ立てた。横断幕は縦2尺横10尺で、本庁舎南側のペラングに設置した。今後、計46台のゴミ収集車が投票呼び掛けながら市内を巡回するほか、投票日の前日と当日に防災無線を活用し、市内全域で啓発する。(青木伸介)

選挙人名簿登録者数
(2015年3月25日現在)

	男	女	計
福井市	102,544	112,315	214,859
あわら市	11,380	12,932	24,312
坂井市	35,496	38,584	74,080
大野市	13,798	15,440	29,238
勝山	9,883	10,868	20,751
鯖江市	26,184	28,135	54,319
越前市	31,762	33,920	65,682
敦賀市	26,508	27,811	54,319
小浜市	11,996	12,852	24,848
市計	269,551	292,857	562,408
永平町	7,481	8,149	15,630
越前町	9,017	9,810	18,827
南越前町	1,216	1,325	2,541
若狭町	4,409	4,898	9,307
美浜町	6,232	6,767	12,999
お高町	4,136	4,413	8,549
町計	3,386	3,509	6,895
町計	4,324	4,373	8,697
町計	40,201	43,244	83,445
県計	309,752	336,101	645,853

有権者64万5853人 県選管発表

県選管は25日、同日現在の選挙人名簿登録者数を発表した。総数は64万5853人で、2011年の前回知事選より8285人減った。内訳は男性30万9752人、女性33万6101人。市場合は、当選しても無効にな

(坂下享)

届け出順番は 金元氏、西川氏

知事選の立候補受け付けは26日午前8時半から県庁で行われ、写真、届け出は金元幸枝氏(共産)、西川一誠氏(無所属)の順となった。

受け付け開始までに岡氏の代理人が会場入りしたため、



くじで受け付け順を決めた。

県選管職員が立候補届け出書類に不備がないかを確認。代理人は選挙事務所の標札や腕章などの「七つ道具」を受け取る。引き締まった表情で各陣営へと向かった。

他に立候補の届け出はなく、午後5時に受け付けが締め切られた。(宮崎翔史)

期日前投票始まる

知事選 市役所など40カ所

27日、県内各市町の市役所や役場など計40カ所で始まった。4月11日まで毎日午前8時半から午後8時に受け付けて実施する。

統一地方選

知事選(4月12日投票)の期日前投票が

27日、県内各市町の市役所や役場など計40カ所で始まった。4月11日まで毎日午前8時半から午後8時に受け付けて実施する。

開票)の期日前投票が

期日前投票者は6万4878人で、投票者数に占める割合は17・29%だった。担当者は「若い」と呼びかけている。

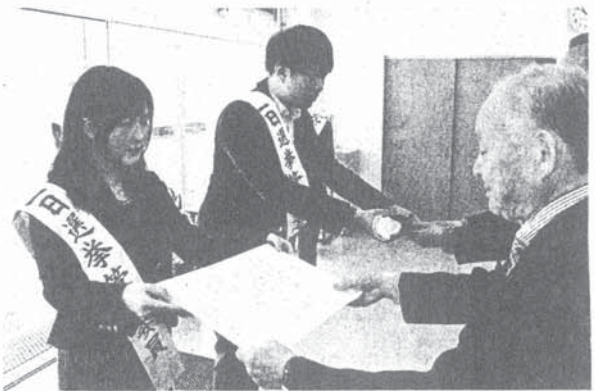
【山衛守剛】

政見放送日程発表

県選管は二十六日、知事選候補者の政見放送の日程を発表した。

送の日程を発表した。▽NHKテレビ 4月1日午後6時40分、9日午前7時半▽NHKラジオ第1 4月3日午前7時25分、8日午後0時半▽福井放送テレビ 4月3日午前10時20分、4日午前10時▽福井放送ラジオ 4月5日午前11時半▽福井テレビ 4月5日午後4時半

きれいな選挙 呼びかけ 大学生が「一日選管委員」



統一 地方選 2015

県立大学生2人が27日、「一日選挙管理委員」を県選管から委嘱され、知事選に立候補した2候補の各選から委嘱状とたすきを渡された。

選挙事務所でクリーンな選挙の啓発を行った。写真。

統一地方選の後半に行われるおおい町議選(4月21日告示、同26日投票)の立候補予定者説明会が27日、同町役場で開かれ、定数14に対し、16陣営(現職12、新人4)が出席した。

おおい町議選 説明会に16陣営

れ、唐崎さんが「若い情熱で選挙ルールの順守と明るくきれいな選挙を実現するためがんばります」とあいさつした。

続いて立候補者の事務所を訪問。「政策、主義、主張をわかりやすく有権者に伝えるとともに、ルールを守って明るい選挙を心がけ、有権者の信頼と期待に応えるよう要望します」と要望書を読み上げ、担当者に明るい選挙のシンボル「白バラ」を手渡した。

**期日前投票
初日は176人**
県選管は二十八日、

知事選の期日前投票初日(二十七日)の状況を発表した。県全体で百七十六人で、前回の選初日の千二十四人と比べると、大幅に少ない。

3月29日 中日新聞

期日前投票は投票票日前日の四月十一日まで、県内各市町の役所や校場など計四十カ所で午前八時半～午後八時に受け付ける。

(西尾志志)

啓発団体の大学生
坂井で投票立会人

若者の選挙啓発ボランティアグループ「県と話し、山田さんはこ明るい選挙推進青年活動隊CEPT(セプト)」のメンバー二人が二十八日、坂井市役所で、知事選の期日前投票の立会人を務めた。

二人は、セプト代表で県立大三年の唐崎朝加さん(三〇)同市春江町と会社員の山田明日香さん(二〇)同市丸岡町。唐崎さんは「自分の一票を大事にしてほしい。若者みんな」も展開している。(山口信夫)



期日前投票の立会人を務める唐崎朝加さんと山田明日香さん。坂井市役所で

3月31日 福井新聞

知事選の公報や「七つ道具」発送
県選管は30日、県知事選の選挙公報や、県議選立候補者の「七つ道具」を各市町に

午前8時半から、県庁正面玄関前で県選管事務局職員約20人がトラック4台に積み込みし、各市町へ向けて送り出した。(近藤洋平)



発送した。知事選の候補者の公約や経歴などをまとめた公報は31万2千部で、10日までに各市町選管が各戸に配る。また、県議選候補者の「七つ道具」は選挙カー表示板や運動員用腕章、街頭演説用標旗など5種類と、明るい選挙

4月4日 産経新聞

若者の投票率アップを！

県選管 企業協力で啓発活動

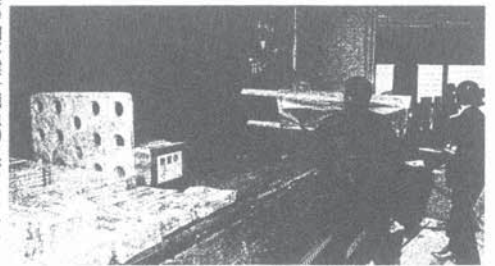


働く若者を中心に投票率を上げよう」と県選挙管理委員会が3日、越前市岡本町の福井村田製作所で、出社してきた社員ら約800人に知事選と県議選の投票日(12日)を知らせるチラシとティッシュを配り、投票を呼びかけた。写真(県選管提供)。

約500人以上の企業16社で行う。この日は福井村田製作所厚生棟入り口で、県と越前市の選挙職員、明るい選挙推進協議会メンバー、県明るい選挙推進青年活動隊(セプト)の清水美晴さん(21)県立大3年ら計9人が従業員らにチラシなどを手渡した。県選管によると、20代の投票率は前回の知事選で35・80%(抽出調査)、昨年の衆院選で32・08%(同)といずれも県全体より20ポイント前後低くなっている。

3月31日 読売新聞

選挙公報 市町選管に発送
10日までに28万6000世帯配布



選挙公報などをトラックに積み込む県選管職員ら(県庁前で)

4月12日投票の知事選職員20人がトラック4台で、県選管は30日、立候補選挙公報と、4月3日告示した2人の経歴や政策などの県議選向けの看板と腕章を記した選挙公報を各市町選管に発送した。4月10日までに県内約28万6000世帯に配布される。この日は県庁前で県選管

若者よ 未来築く1票を

統一選15

低迷する若い世代の投票率を上げようと、県選挙管理委員会が啓発活動に知恵を絞っている。選挙権年齢の「18歳以上」への引き下げを目指す公職選挙法の改正論議も見据え、様々な作戦で政治や、12日投票の知事選・県議選への関心を高めたい考えだ。

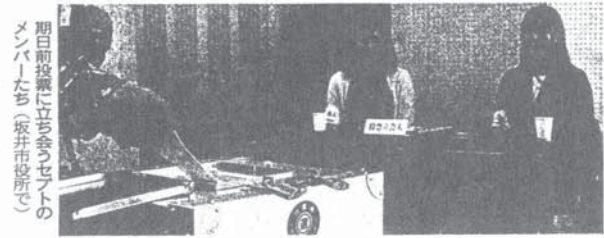
(渡辺彩香、村上和史)

県選管 投票率アップ作戦



選挙の機運を盛り上げるために食堂に置かれた割り箸 (福井市学園の福井工大で)

福井市学園の福井工大の食堂で2日、学生たちが昼食を食べていた。手元には「生かそうよ、あなたの一票」福井



期日前投票に立ち会うセプトのメンバーたち (坂井市投票所)

PR割り箸、立会人体験

人(21)と同、長谷川弘樹さん(21)は「12日が投票日なんだって」「行ってみようかな」などと話し合った。同大学の食堂ではプラスチック製の箸を使っているが、選挙期間中はこの割り箸に切り替えた。県選管が20万膳を制作。同大学を含む県内4大学の食堂や売店のほか、若者の弁当購入者が多いコンビニエンスストア313店舗、企業の社員食堂24社に協力を求めている。昨年12月の衆院選で、県内小選挙区の投票率は50・00%(全国平均52・66%)と戦後最低を記録した。年代別の抽出調査で見ると、20歳代は最も低い32・08%で、最も高い70歳代の66・84%の半分以下だった。若者の投票率向上は急務だ。県選管が2005年に結成した「明るい選挙推進青年活動隊(C.E.P.T.)」には現在、学生や若手社会人など20人が所属する。若者自身が選挙に参加し、同世代の関心を集めようと、3月27日には隊員2人が一日選挙管理委員の委嘱を受け、知事選候補者の事務所に向かい選挙ルールを守るよう呼びかけた。翌28日も、2人が坂井市の期日前投票所で立会人を体験した。立会人は、投票が公正に行われているかどうかを監視する重要な役割。社員山田明日香さん(27)は「人口減少社会にある中、数十年後の県の姿に責任を持つのは私たち若者。県政の行方を決める選挙に1票を投じよう」と話し、セプト代表の県立大3年唐崎帆加さん(21)も「たかが1票、されど1票。白票でもいい。意思表示のために投票して」と真剣な表情を見せた。セプトのフェイスブックでは、投票日までの日数を手書きした紙を持つ学生らの写真が毎日更新され、選挙の機運を盛り上げようとしている。県選管の担当者は「選挙は若者の意見が県や市町の施策に反映される可能性を持つ大事な機会。ぜひ投票に行ってください」と若者らの積極的な投票を期待する。

知事、県議選の投票 県内2カ所で啓発

知事選と県議選の投票日を12日に控え、県選管などは5日、県内2カ所のショッピングセンターで街頭啓発活動を行い、有権者に投票を呼び掛けた。写真。

福井市のエルパでは県選管、県明の選挙推進協議会の委員や、20代でつくる県明の選挙推進青年活動隊(C.E.P.T.セプト)のメンバーら34人が参加した。



法被姿のメンバーは「ぜひ一票投じてください」「期日前投票もできます」と呼び掛ける。投票日(6日)に合わせたチラシやティッシュなど

を配った。県明の選挙啓発のマスケット「めいすいサウルス」も登場し、家族連れにPRした。街頭啓発は敦賀市のアヒラ教習店でも行われた。(前田幸)

投票呼び掛け 学生ら福井で

12日投票の知事選と県議選の啓発活動



チラシとティッシュを渡し投票を呼び掛ける清水美晴さん(中)＝福井市のJR福井駅西口で

が6日、福井市のJR福井駅周辺で行われた。県選管の職員らがティッシュなどを配り投票を呼び掛けた。県内の大学生を中心に構成する「県明の選挙推進青年活動隊(C.E.P.T.)」のメンバーらが加わり18人が活動。県の選挙イメージキャラクター「めいすいサウルス」も駆けつけた。参加者は駅の西口と東口に分散し、通動者らに「投票をお願いします」と大きな声で呼び掛けた。「福井の今後を決める重要な選挙。たくさんの方が投票へ行ってください」とC.E.P.T.の清水美晴さん。チラシとティッシュの千セツトを配りきった。(玉田能成)



開票速報作業 17市町と確認 県選管が会議 県選管は6日、県庁で知事選、県議選の開票速報の打ち合わせ会議を開いた。写真。県内十七市町の開票速報の担当者ら三十人が当日の流れを確認した。池田禎孝書記長が「開票作業は中枢の事務でミスは許されない。正確性と迅速性が問われている」と的確な事務作業を呼び掛けた。

開票速報作業 十二日の投票日の事務の説明では有権者数や中間投票率など五項目を県選管に報告する上での注意点を説明した。(塚田真裕)



投票を呼びかける啓発用割り箸を置くコンビニエンスストアのレジ=福井市町屋2丁目

投票率アップ 啓発に割り箸

12日投票の知事選、県選管に1票を投じてもらうと、県選管は啓発用の割り箸を20万膳作り、コンビニエンスストアや大学・企業の食堂などで配布している。食事の際にふと目に止めてもらい、選挙への関心を高めてもらう。

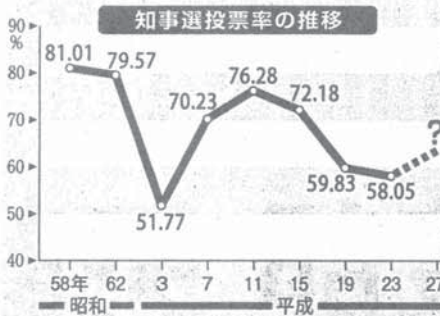
割り箸での啓発は今回が初めて。箸袋に「生かそうよ あなたの一票 福井のために」と印字し、県内のコンビニ約300店に約16万膳を配布した。大学の学生食堂や24社の社員食堂にも計約4万膳を配った。 今回の県選選では12選挙区のうち5選挙区が無投票だった。人口の多い坂井市や鯖江市が含まれ、知事選

での投票率低下が懸念されている。担当者は「箸を手にした時に、少しでも選挙について考えてもらえたら」と話している。(堀田浩一)

県選管、若者中心に啓発

知事選 投票率低下を懸念

12日投票の知事選と県議選。気になるのは投票率だ。知事選は前回(平成19年)の選挙から「与野党相乗り現職対共産新人」の一騎打ちの構図が続き、投票率が前回59・83%前呼びかけている。



県選管がコンビニなどで通じて配布している選挙啓発の割り箸

県選管がコンビニなどで通じて配布している選挙啓発の割り箸

投票率を上げるかどうかが目される。県選挙管理委員会は、投票率が低い若い世代を中心に積極的な投票を呼びかけている。

投票率(50%)に落ち込んだ例もあるからだ。投票率低下の不安材料として、知事選と同日に投票が行われる県議選の選挙情勢の影響もあげられる。今回、県議選の無投票選挙区が前回の3選挙区から5選挙区に増えた。5選挙区は、粟田が大きい坂井市、鯖江市などの選挙区を含め有権者の3割を占めており、知事選だけで過去2回と同じ対決構図だけに投票率の低下が懸念される。 県選管は、県議選で少数激戦の福井市などで投票率がアップすれば、知事選の投票率を押し上げることも考えられるとしている。だが、過去最低の県議選立候補者数で30代、40代の候補者も少ないこともあり「若い世代の関心が薄いのでは。それでも知事選の50%はありえないだろう」と(担当)と見る。候補者の陣営では「50%を切ることも」と厳しい見方も。 県選管は今回、投票率が低い若者(前回20代の抽出調査で35・80%)を中心に「コンビニエンスストアや大学・4校、企業24社で選挙啓発の割り箸(20万膳)やティッシュを配るなど新たな啓発活動を展開している。 投票当日の天気も投票率に影響するが、福井地方気象台の予報では「晴れ時々曇り」。花見シーズンでもある。



学生も投票を 県選管がPR

県立大

知事選と県議選の投票日(十二日)を前に、県選管は若者の投票率向上を図るために県内四大学の売店や食堂に選挙公報を置いたり、選挙袋に啓発文を記載してりして投票を呼び掛けている。

八日は県立大福井キャンパス(永平寺町)岡兼定島を県選管の二人が訪問。昼食時は食堂で選挙袋や公報を手取る学生の姿も見

(中場賢一)

開票速報向け 県選管がリハ

12日の知事選、県議選の投票を前に県選管と17市町の選挙は10日、投票速報のリハールを行った。県庁では県選管の職員が、各市町の選挙からファクスで送られてくる開票結果の審査から発表までの手順を確認した。

集計速報の会場となる県庁6階の会議室で行われ、当日と同じ職員31人が配置に就いた。県選管の池田植孝書記長が「市町からのアークを審査、入出力し発表する大事な事務になる。万全の体制で本番を迎えてほしい」と訓示した。

各市町の選挙からファクスが届くと、職員は入力ミスがないか検算し、パソコンを使って発表用資料の集計作業などに当たった。ファクスが届いてから発表まで約15分しかないため、真剣な表情で取り組んでいた。

12日の開票速報は午後9時半ごろから同10時半ごろまでは約30分間隔、以降は約20分間隔で、県選管の統一地方選

専用ホームページで発表する。(新屋安弘)



知事選、県議選の投票速報リハールで作業手順を確認する県職員たち。10日、県庁

貴重な1票 誰に

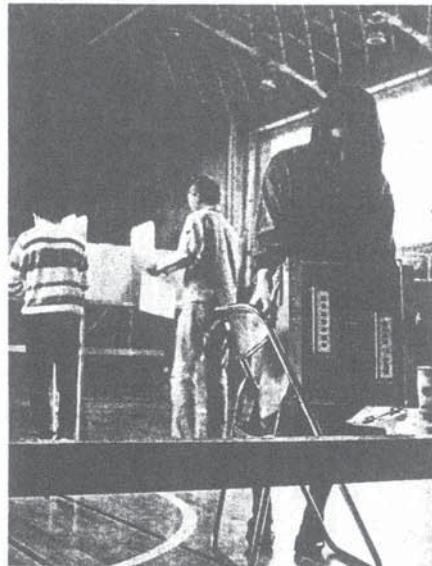
統一 地方選 2015

統一地方選前半戦の知事選と県議選は12日、投票日となる。知事選は現職と新

人の2人、県議選(12選挙区、定数37)は5選挙区11人の無投票当選者を除く7選挙区のうち34人が、それぞれ有権者の審判を待つ。各陣営は選挙戦最終日の11日、各地で「最後の訴え」に声をからした。

知事選は、共産新人の金元幸枝氏(67)と、4選を目指す無所属現職の西川一誠氏(70)と自民県連、民主県連、公明県本部推薦の1陣打ち。一方、県議選は残る7選挙区(福井市▽敦賀市▽小浜市・三方郡・三方

知事選・県議選 きょう投票



投票所の設営作業を行う市職員
=福井市大手の市立順化小学校

候補者たちは時折小雨がぱらつく天候の中、市街地やショッピングセンター前に繰り出したり、選挙カーを走らせたりして、最後まで有権者に支持を呼びかけた。

一方、県内17市町の選挙管理委員会は11日、知事選・県議選投票所(計411カ所)の多くで、投票箱の設置作業などを行った。福井市大手の市立順化小学校では、市職員5人が知事選と県議選2種類の投票箱を設置。記載台に候補者名が書かれた用紙を貼り付けたほか、花冷え対策用のストローやヒーターなども準備していた。男性職員は「スムーズな投票ができるよう、万全の準備で当日を迎えたい」と話していた。

さあ県民の出番

知事・県議 深夜にも大勢

統一選15

統一地方選前半戦の知事選と県議選(定数37)は12日、投票票される。人口減少対策や北陸新幹線の県内延伸を見据えたまちづくりなどが課題となる中での選挙戦。各候補は11日、人口の多い市街地を選挙カーで巡るなどして最後の訴えに声を振り絞り、知事選は17日間、県議選は9日間の舌戦を終えた。

(井上敬雄)



投票箱を設置する職員(福井市役所)

次の4年間の県政を担う知事は12日夜に大勢が判明する見通し。県議選は、12選挙区のうち無投票となった5選挙区を除く7選挙区で34人が26議席を争い、12日深夜から順次、新議員が決まるとみられる。

投票は12日午前7時～午後8時(一部は1～2時間繰り上げ)、学校や公民館など県内411か所を実施

され、17市町の開票所で即日開票される。11日は各市町選管職員によって開票所の設営作業が行われ、福井市役所では午前9時から、職員5人が投票用紙記載台や投票箱を設置。投票用紙を1枚1枚、丁寧に数えていた。

前回の投票率は知事選が戦後2番目に低い58・05%、県議選は最低の60・36%。今回は坂井市や鯖江市などの大票田を含む5選挙区が無投票となったことか

ら、投票率の低下が懸念されており、県選管は11日も各地で投票を呼びかける啓発活動に取り組んだ。

一方、40か所で行われた期日前投票は、県議選の投票も始まった4日以降に急増。10日までに知事選の投票は5万4059人と前回の同時期(4万3897人)を大きく上回り、制度の周知が進んできたことを裏付けた形となった。

2日現在の選挙人名簿登録者数は64万5466人。

4月12日 県民福井

棄権せず投票を

県選管委員長談話

県選管の北川稔委員長は十二日の知事選、県議選の投票日に当たり、次のよ

うな談話を発表した。今回の統一地方選は、本格的な人口減少社会が到来し、超高齢化が進む中で、魅力あふれる地方を創生するために、今後の県政の方

向性を決定する非常に重要な意義を有するものです。有権者の皆さまにおかれは、今後の四年間の県政を託す知事と県議を選ぶ今回の選挙が、県民の生活

に直接大きく関わっているものであることを十分認識され、棄権することなく、自らの大切な一票を投じられるよう切望いたします。

4月12日 中日新聞

県内投票所 準備は万全

知事選と県議選の投票(十二日)を前に、投票所となる県内の各施設では十一日、投票箱を設置するなどの準備を進めた。



投票所設置を進める市職員たち=福井市役所で

福井市第一投票所の市役所では、市職員五人が朝から作業に当たった。知事選と県議選用の投票箱や、記載台、事務用の長机をきちんと並べ、投票用紙の枚数を確認した。

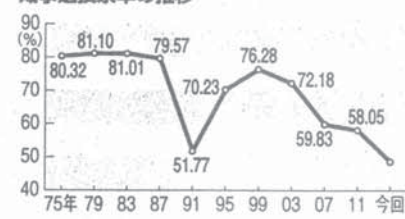
県内では全部で四百十一投票所が設けられ、投票時間は当日前七時から午後八時まで(一部地域で繰り上げ)。(大山弘)

知事選投票率48・59%

戦後最低を更新

知事選の投票率は48・59%で、戦後最低となった。前回2011年の58・05%を9・46%、戦後最低だった1991年の51・77%を3・18%下回った。4選を

知事選投票率の推移



目指す現職に共産新顔が挑むという前回と同じ構図だったことに加え、県議選が12選挙区のうち5選挙区で無投票となったことが影響した。市町別にみると、有権者数が最も多い福井市は46・92%（前回55・51%）、県議選が無投票だった鯖江市は30・28%（同48・81%）、坂井市は33・19%（同61・18%）だった。（堀田浩一）

期日前は1万人増

知事選

県選管は12日、知事選の期日前投票の結果を発表した。16日間で計7万4945人が投票し、前回は1万67人（15・5%）上回った。当日有権者数に占める割合は、約11・8%。投票時間別でみると午前8時半～午後5時が5万7885人で、77・2%を占めた。同5時～同8時は1万7060人だった。

市町別で最も多いのが福井市で2万2054人。次いで越前市7737人、敦賀市6528人などとなった。前回の投票数を上回ったのは14市町。県議選が無投票となった勝山市、坂井市、おおい町は下回った。10日までの投票総数は5万4079人。最終日だけで2万8666人が投票した。

一概には比較できないが、2014年の衆院選では8万4167人、13年の参院選では8万2625人が期日前投票しており、直近の国政選挙よりは少ない結果となった。（坂下享）

期日前投票増加 知事選7万4945人

県選管は12日、知事選の期日前投票者数の最終集計結果を発表した。総数は7万4945人。四

年前の前回知事選より一万六十七人多く、制度が有権者により浸透したといえる。期日前投票は、知事選告示翌日の三月二十七日から県内各市町で実施され、十一日午後八時に締め切った。県議選の期日前投票が

（山内悠記子）

県議選投票率54・50%

県議選全体の投票率は54・50%で、前回2011年の60・36%を5・86%下回った。前々回の07年に64・42%と初めて70%台を切り、戦後最低を更新し続けている。選挙区別では、12議席を

	有権者数	投票者数	投票率 (%)
福井市	212,151	99,255	46.79
敦賀市	53,492	30,345	56.73
越前市	45,766	31,300	68.39
大野市	-	-	-
鯖江市	-	-	-
あわら市	24,061	14,839	61.67
勝山市	76,754	45,416	59.17
坂井市	-	-	-
吉田郡	15,446	9,284	60.11
丹生郡	18,633	12,774	68.56
丹波郡	-	-	-
県計	446,303	243,213	54.50

計7人が5議席を争った越

前市・今立部・南条郡は59・17%と、いずれも前回を下回った。前回無投票で、合併後の選挙戦となったあわら市の選挙区は61・67%、同じく丹生郡は68・56%だった。（堀田浩一）

県政担う責任重く 知事、県議に当選証書

県選管

12日投開票された知事選と
県議選の当選証書付与式が15
日、県庁であった。4選した
西川知事と当選県議は証書を
手に、今後4年間の県政を担
う責任の重さをあらためてか
みしめていた。

西川知事と、当選県議37人
のうち本人31人、代理人6人

が出席した。

県選管の北川総委員長が
一人一人に当選証書を手渡
し、「福井県の将来を託され
た県民の代表として、県の発
展のため、県民の安全で安心
な暮らしのため、魅力あふれ
る地方の創生に尽力いただ
きたい」と祝いの言葉を述べ

た。

県選管から当選証書
を受け取る辻議員＝
15日、県庁正庁(木村
時典撮影)



初当選を果たした辻一憲氏

(越前市・今立郡・南条郡選
挙区)は「身が引き締まる思

い。豊かな福井県づくりに
生懸命頑張りたい」と抱負を
語った。式の前後には当選を
喜び合ったり、西川知事と握
手を交わしたりする県議の姿
があちこちで見られた。

(新屋安弘)



北川総委員長(手前)から当選証
書を受け取る西川一誠氏＝県庁で

知事や県議らに 選管が当選証書

県
庁

統一地方選前半戦の
知事選と県議選の当選
者に対する当選証書付
与式が15日、県庁で

あった。知事選で四選
を果たした現職の西川
一誠氏が県選管の北
川総委員長から証書を
受け取り、重責をあら
ためてかみしめた。

式典で北川委員長は
西川氏や県議選で当選
した本人や代理人に証
書を手渡し「県民の代
表としていま一度、一
票に託された熱い期待
をかみしめてほしい」
と激励。西川氏は「こ
れまでの継続と新しい
四年に向けての気持ち
が交互に訪れている」
と心境を語った。

県議たちの中で再選
を果たした現職同士で
握手を交わしたり、新
人がベテランの現職に
あいさつをしたりする
場面も見られた。

(桂知之)